

の
み
お
と
の
み
お
と
の
み
お
と

身延山大学 仏像制作修復室 広報誌のみおと 第七号

天井画「鳳凰図」画 依田 司
甲府遠光寺 納骨堂



御挨拶

身延山大学仏教学部 特任教授

柳本 伊左雄

全世界に猛威を振るったコロナ禍も落ち着いて、当工房でも忙しい日々を送っております。

ラオス事業はようやく現地渡航を再開しました。ラオス政府の組織や人事に変化もあり、新たな依頼もありました。応えることは容易ではないものの、長年の実績が現地で高く評価されている事もまた実感いたしました。

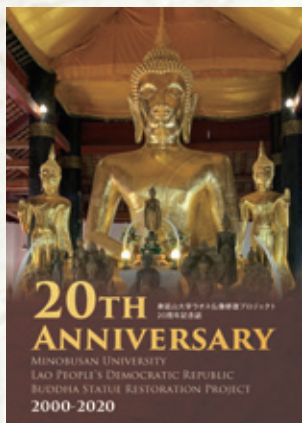
国内の活動では、鎌倉日蓮堂日蓮聖人御尊像制作や銀座展覧会をはじめ、こちらも数々の活動を行ってまいりました。修復についても京都法華宗真門流総本山本隆寺の諸尊像修復をはじめ、数多くの重要な案件を手掛けることができました。また、甲府遠光寺納骨堂天井画「鳳凰図」制作により、障壁画制作へ

新たに進出できた事は大きな成果であると感じております。

さて、今般の世情をみますと、今後も引き続き難しい状況が予想されます。その中で我々に果たして何ができるのか自問自答しておりますが、伝統文化の継承とともに、地域社会へ貢献することがひとつの形ではないかと考えるに至りました。

試みとして、身延山大学の仏像工房を一般に開放し、多くの人々に仏像彫刻および仏教美術を経験していただくための準備を現在行っております。

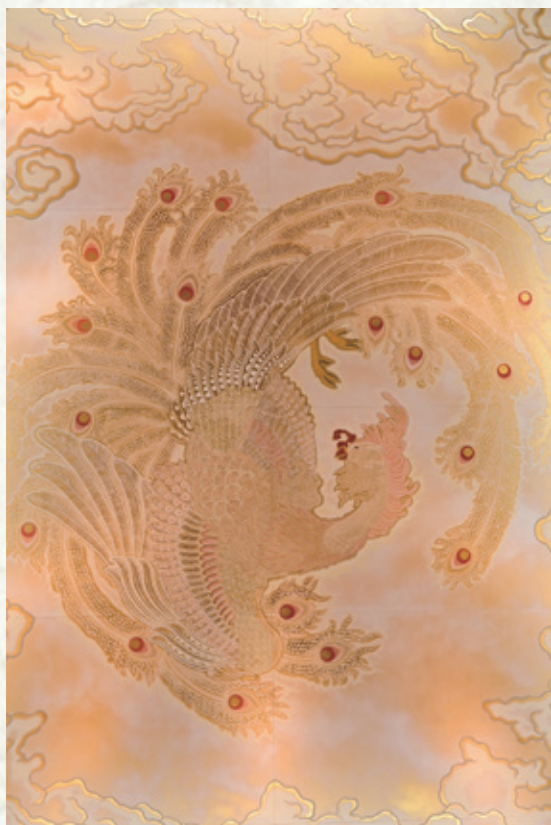
我々がこれらの活動を行うことができるのも、ご支援いただいております皆様方のおかげです。心より感謝申し上げます。



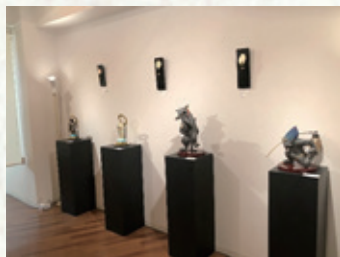
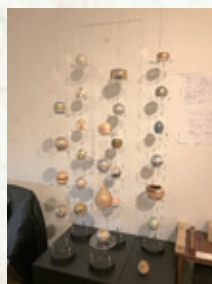
ラオス事業20周年記念誌



ワット・ビスンナラート堂内



遠光寺納骨堂天井画『鳳凰図』



令和4年開催 佛／美 展

第二十五回 ラオス世界遺産仏像修復プロジェクト

三年ぶりの現地での活動

コロナ禍により現地活動を中止していたラオス世界遺産仏像修復事業ですが、ようやく再開することができましたのでご報告いたします。

第二十五回目となる今回事業には十一名の日本人、ラオス政府情報文化観光省遺産局（以下、遺産局）・ラオス国立美術工芸大学・ラオス国立王宮博物館等から十五名のラオス人、計二十六名が参加し、二〇二三年（令和五年）二月十七日から約三週間の活動を行い、六体の木彫仏の修復、一体の鑄造仏の修復を完了しました。

ラオス全地域の活動へ

我々には想像もできないことですが、ラオスには日本の文化庁のような文化財の指定、調査研究、修復等を行う組織が存在しません。世界遺産の管轄は遺産局になるのですが、



仏像に関してはルアンパバーン地域で我々が実施した調査データのみが保管されている状況です。

近年、仏像盗難事件がラオス各地で頻発するようになりました。しかし国家的な対策を行いたくとも現地ではなすすべがないのが現実です。

今回、遺産局より「国立仏像修復センターの設立とラオス全土の仏像調査」に対する協力要請がありました。我々の出来ることはまず首都ヴィエンチャンに修復所を設立すること、並行してラオス全土の仏像調査、とりわけ重要な仏像の選定を行うことだと考えております。

次回事業からさっそくこれらの活動に入るべく、準備を進めてまいります。

(鈴木義孝)



修復内容

No.90 (木彫)

欠損部補修
腕部新規作成
古色彩色

No.130 (鑄造)

欠損部原型制作
欠損部分鑄造作成
接着
古色彩色



No.90修復後



No.90修復前



No.130修復後



No.130修復前

修復内容

No.12 (木彫)

金ペンキ除去

欠損部補修

割れ止め処理

漆箔

古色彩色

No.13 (木彫)

金ペンキ除去

欠損部補修

割れ止め処理

漆箔

古色彩色



No.12修復後



No.12修復前



No.13修復後



No.13修復前

京都本隆寺修復事業

法華宗真門流 総本山 本隆寺

工房では平成二十八年より、法華宗真門流総本山本隆寺（京都）本堂に安置されている仏像を修復して参りました。約七年の時を経て、令和五年十二月には全修復工程を完了する運びとなりました。

今回の修復は、仏像の解体と欠損部分の復元補修を主に行いました。

また表面は脆くなっている部分を下地から取り除き、再度彩色および金箔の箔押しを行いました。

現在、本隆寺本堂は国指定重要文化財に指定され、内外の保存修理工事が進められています。

令和六年三月三十日、三十一日には本堂大改修落慶法要が厳修されます。（永利郁乃）

修復例 四天王持国天



修復後



修復前

修復例 四菩薩立像



修復後



修復前

修復例 一塔兩尊 如來座像



修復後



修復前

岩手法華寺 丈六仏制作

日蓮宗 岩手県 遠野 法華寺

工房では主な制作事業として、日蓮宗法華寺（岩手）依頼による立像丈六仏（全高六m）の制作を手掛けております。

今回の制作にあたり、平安時代の仏師定朝に始まる和様の仏像彫刻様式「寄木造り」に三次元測定技術を取り入れ、伝統工法の新しい形を探索しながら制作を進めております。

身延山丈六堂の釈尊像を元に原型を制作、三次元測定技術を用いることで、従来に比べより差異の少ない正確な型紙を制作でき、非常に精度の高い寄木工法が可能となりました。

現在、台座部分の組み上げ作業を行っており、令和六年度より荒彫り工程に入る予定としております。

（岡村達人）



現状 寄木組み



3D 完成予想原型

鎌倉 日蓮聖人立像制作

日蓮宗 神奈川県 鎌倉 日蓮堂

令和三年十二月九日、日蓮宗が日蓮聖人辻説法跡地（鎌倉）の隣接地で建設を進めていた「鎌倉日蓮堂」が完成し、落慶法要が営まれました。

工房では堂内に安置される木造日蓮聖人像を制作させて頂きました。

三十代前半を想定した日蓮聖人の様相を表し、庶民が幸せに暮らせる世の中を目指し、布教に励まれる若き姿が、日蓮聖人御降誕八〇〇年に蘇りました。

法要では開眼修法の後、導師を務めた中川法政宗務総長（当時）が日蓮聖人へ完成を奉告するとともに、嘉納していただくことを念願しました。

堂内はこの日蓮聖人像と時空を超えた心の対話ができるような設計がなされています。

（岡村達人）



銀座展覧会報告

佛／美展 新しい仏教美術のかたち

令和四年十月二十七日～十一月二日、銀座ギャラリーゴトウ（東京）で工房初の展覧会「佛／美展 新しい仏教美術のかたち」を開催し、おかげさまで好評のうちに終了しました。

身延山大学仏像制作修復室、通称「工房」は開設以来二十三年を経て、現在では卒業生による制作集団「彫玄」を結成し、仏像制作・修復を生業としております。

展覧会では、工房が培ってきた技術による各種作品を展示。修復の一例として、日蓮宗本山藻原寺（千葉）の十大弟子のうち二体の展示もさせていただきました。併せて「彫玄」の一員で古代瓦・城郭の鯨鏝の復元等を手掛けた経験もある、永利郁乃（南アルプス市若草瓦会館・館長）の瓦作品も発表しました。

（柳本伊左雄）



飛天図と漆塗截金木鈕



截金香合



展覧会ポスター



作品 百鬼夜行 志手引鬼之立像
作 永利 郁乃 / 花阿弥
Ayano Nagatohi



香炬
作 鈴木 義孝 / 逢
Yoshitaka Suzuki



木紐 龍神図
作 永利 郁乃 / 花阿弥
Ayano Nagatohi



香合
作 鈴木 義孝 / 逢
Yoshitaka Suzuki



妙見菩薩座像
作 依田 司
Tsukasa Yoda



香合
作 鈴木 義孝 / 逢
Yoshitaka Suzuki

編集後記

本誌「のみおと」は、今号で第七号を数え、三年ぶりの発行となりました。

この間、世界は自然災害や戦争などの大きな出来事に揺れました。とくにコロナ禍では、所在する身延山大学の講義延期やラオス事業の二年連続の現地渡航中止の止むなきに至るなど、工房も大きな影響を受けました。

ラオス事業は可能な範囲で活動を継続し、二十周年記念事業の一環として記念誌を刊行しました。そして規制緩和を踏まえ、今年二月の令和四年度第二十五回事業では、現地渡航による事業を再開しました。現地スタッフとの再会を喜び、仏像修復・調査・三次元測定など充実した活動を行うことができました。

京都本隆寺修復事業は、諸尊像の修復作業

も大詰めとなり、工房の別棟では岩手県法華寺丈六大仏制作事業も順調に進んでおります。令和四年十一月には東京銀座で工房初の展覧会を開催し、多くの皆様にご来場いただきました。

その他、鎌倉日蓮堂「日蓮聖人立像」制作、山梨県遠光寺納骨堂「鴻恩殿」天井画制作など、工房では所属する仏師・学生達による多くの制作修復活動が活発に行われております。混沌とした世の中ではございますが、工房の諸活動は世に一筋の光をあてるひとつの私たちではないかと存じます。皆様方におかれましては引き続き工房への温かいご理解ご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

(池田健太郎)

支援団体 一覧 様々な形でご支援いただいております (順不同・敬称略)

- ・日蓮宗総本山身延山久遠寺
- ・日蓮宗宗務院
- ・公益財団法人 仏教伝道協会
- ・ラオス仏像修復サポーターズクラブ
- ・独立行政法人国際協力機構 JICA 草の根技術協力事業
- ・独立行政法人国際交流基金 アジアセンター **ASIAcenter**
JAPAN COOPERATION CENTER
- ・地方独立行政法人 京都市産業技術研究所
- ・帝京大学 文化財研究所
- ・若草まちおこし協同組合
- ・南アルプス市商工会
- ・法華宗真門流総本山本隆寺
- ・日蓮宗諸寺院
- ・一般財団法人 太田慈光会

身延山大学 仏像制作修復室 広報誌
工房便り のみおと 第七号

二〇二三年十二月八日 発行

発行所

身延山大学仏教学部
国際日蓮学研究所
仏像制作修復室
制作集団 彫玄

〒409-2597

山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六-六二一〇一〇七(代)

編 監
集 修

柳 本 伊左雄
岡 村 達 人
池 田 健太郎

執 筆 者

柳本伊左雄
鈴木 義孝
永利 郁乃
岡村 達人
池田健太郎

印 刷 所

〒141-0032
東京都品川区西五反田八-七-11 二〇二
電話 〇三-三七七九-一一四〇
株式会社イーフォー

身延山大学 HP <http://www.min.ac.jp/>
工房 Facebook <https://www.facebook.com/632010423548773>
若草瓦会館 <http://www.minamialps-shokokai.jp/kawara/>

工房 YouTube チャンネル



仏像制作・修復を現場で体験しながら学べます。
学校法人 身延山学園

身延山大学

〒409-2597 山梨県南巨摩郡身延町身延3564
入 試 事 務 室
TEL 0556-62-3700(直通) FAX 0556-62-0727
e-mail nyuushi@min.ac.jp
<https://www.min.ac.jp>

